

きょうの紙面



12 夏休みに高校生20人 南三陸町の交流会へ

県立鶴嶺高校の生徒20人が夏休みを利用して、宮城県南三陸町戸倉地区で開かれる交流会に参加する。「元気を届けたい」と意気込んでいる。

▶ 湘南



神奈川

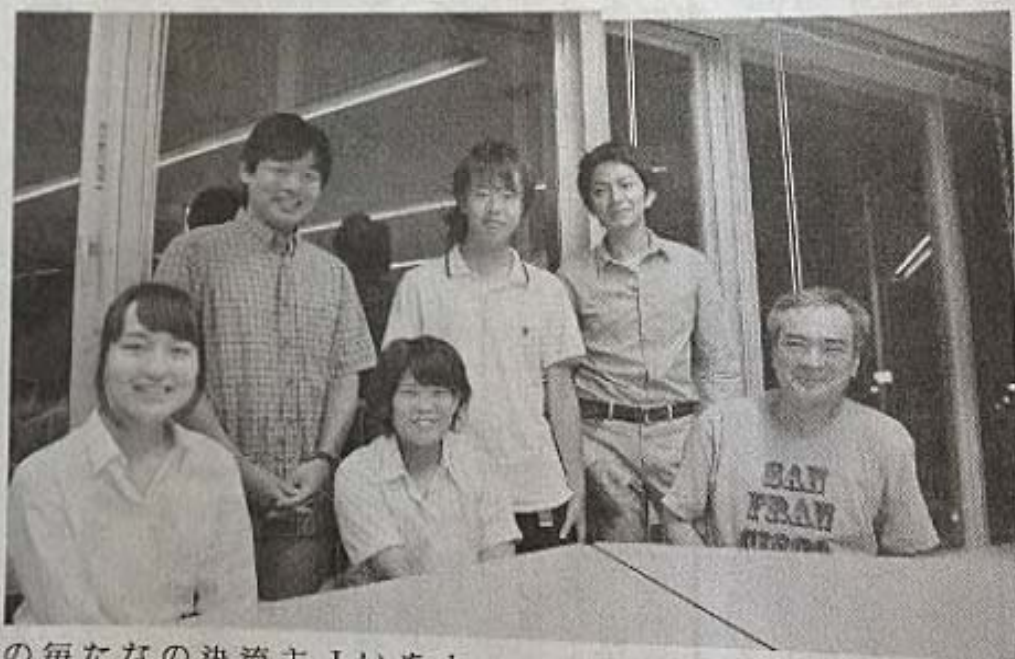
第3種郵便物認可

「元気届けたい」

鶴嶺高生徒20人

南三陸町交流会に参加

県立鶴嶺高校の生徒20人が夏休みを利用して、宮城県南三陸町戸倉地区で開かれる交流会に参加する。引率するのは、同地区への継続的な支援活動を行っている市民活動団体「Team Aid for Japan」(T.A.J.)の約20人。生徒たちは交流会の企画にも参加し、「元気を届けたい」と意気込んでいる。(山本 昭子)



夏休み中の8月に宮城県南三陸町に行く高校生たちと、引率する市民活動団体T.A.J.のメンバー。茅ヶ崎市海岸

「友達も連れて行きたい」。2月、同地区で行われたT.A.J.主催の交流会に同校の生徒4人が参加した。2泊3日(車内1泊)の帰りのバスの中で感想を伝え合ったとき、生徒たちから声が上がった。同校2年の巻淵伶奈さん(16)は、生徒たちの要望を受け、

復興支援団体が引率

対象 小学生以上 12歳以上 職業校 望・職業校 鎌倉に「子ども大学」

「行く前は「もうがれきも残ってないのでは」と思っていたが、被災した家がそのまま残っていることにびっくりした。まだこういう場があると、みんなに知ってもらいたいと思った」とボスターを掲示し、参加者の募集を行った。同校2年の大澤南斗さん(16)は「話を聞いて、まだまだ復興しないと思った。ニュー

「本人たちが「行きたい」という気持ちで大事にした」と、T.A.J.が高校生を主体とした交流会の開催を決定。学校との調整も進めながら、生徒たちとともに毎月1〜2回の話し合いを降、T.A.J.は同地区と関わりを持ちながら物資支援などに、生徒たちの継続支援を続けてい

スで伝わらないことも、見たいと思った」と初参加を決めた。日程は8月25〜27日の2泊3日(車内に1泊)。同地区の仮設住宅で生活する住民らに呼びかけ、子どもから高齢者まで参加できるよつなレクリエーションなどを行う予定だ。